



2023年2月15日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西日本連合 第 30 回委員会

安心して意欲を持って働き続けられるJR西日本グループへ

J R 西日本グループ労働組合連合会（J R 西日本連合）は 2 月 10 日、大阪市内で第 30 回委員会を開催し、安全確立や 2023 春季生活闘争、経営へのチェック・提言の取り組み、業務課題をはじめとした活動方針を決定。当面する諸課題の解決にむけ、全加盟単組が総力をあげて運動を展開していくことを確認した。



代表挨拶を行うJR西連合 上村議長（左）、
来賓挨拶を行うJR連合 政所事務局長（右）

主催者を代表して挨拶に立った上村良成議長（J R 連合副会長・J R 西労組中央執行委員長）は、「①安全確立、②2023 春季生活闘争、③離職防止の取り組み、④政策・政治活動」について所信を述べ、離職に歯止めがかからない現状に強い危機意識を示した上で、「未来を見据えた『人財の投資』は不可欠である。2023 春闘勝利にむけて、J R 西日本連合に結集する 50 単組が一丸となって連携を深め、相乗効果を発揮しながら、多くの成果を勝ち取っていこう」と委員各位へ訴えた。

また、来賓として、J R 連合からは政所大祐事務局長と鎗光俊勝労働政策局長が出席した。代表して挨拶に立った政所事務局長は「①コロナ禍での取り組み、②2023 春季生活闘争、③政策・政治活動」について考えを述べた上で、「今次闘争では、加盟単組が『ONE TEAM』となって、J R 産業の魅力向上を向上すべく、労使で危機意識を共有し、あらゆる視点から『人財の投資』について議論を深めてほしい」と呼びかけた。



J R 西連合 石田原事務局長次長（左）、
J R 西連合 白壁事務局長（右）

議事では、J R 西日本連合 2023 春季生活闘争方針をはじめとする活動方針が事務局より提起された。

J R 西日本連合は、今次闘争で「基準昇給の完全実施」、「賃金をはじめとする改善原資として 3%相当分の賃上げ」「ベースアップ 3,000 円」を掲げ、賃金・労働条件を J R 西日本グループに相応しい「働きの価値に見合った水準」へと引き上げ、離職の防止や人財の確保に繋げていくこととしている。

労使の信頼関係を基礎に組合員の負託に応え責任ある運動を展開！

質疑では、3 名の委員から方針を補強すべく、安全の確立や 2023 春季生活闘争、今春に控えた統一地方選挙についての発言があった。白壁靖子事務局長（J R 連合特別執行委員・J R 西労組中央副執行委員長）が一括して答弁を行った後、すべての議案が満場一致で採択された。

その後、委員会宣言を採択し、最後に上村議長の団結がんばろうで閉会した。

